



コミュニティ・スクール



CSだより

令和3年 11月 17日
富士市立広見小学校
第4号

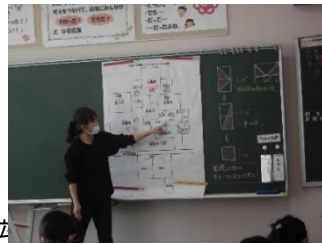
*「CS」とはコミュニティ・スクールの略です。

第2回学校運営協議会が開催されました。

11月4日(木)、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、出席人数を約半数に制限し、第2回学校運営協議会が開かれました。まず、授業参観では、広見地区の町内の面積を教材にした授業等を参観し、委員からは、学習しながら地域を身近に感じてもらえてよい、という感想が聞かれました。次に、前期学校評価の説明と前期CS活動の報告がされました。前期CS活動では、延べ人数159名(実人数70名)の皆さんがCSボランティアとして活動くださり、多くのご支援をいただいたことが報告されました。また、PTA活動のあり方について、佐藤PTA会長からアンケート結果の説明があり、地域の行事や子ども会の課題も含めて、意見交換が行われました。



委員による授業参観



CSルームで行われた学校運営協議会

10月からCS活動が再開されました。

1年生 生活科

10月4日(月)、1年生が、環境アドバイザーの小澤 緑さん(富士市自然観察の会会長)をお招きして、「きせつとなかよし あき」の授業を行いました。イチヨウの葉にシールを貼って顔をつくったり、エノコログサ(猫じゃらし)を紙の筒に入れ、握ったり放したりして不思議な動きを楽しみました。ススキの穂を丸めたハートのスティックや、トウカエデの種子が空中でクルクル回る様子も見せてくださいました。小澤さん、ありがとうございました。



環境アドバイザーの小澤 緑さん

10月7日(木)、1年生は、秋を見付けに広見公園へ出掛けました。小澤さんに、秋への関心を高めていただき、季節を楽しみながら、ドングリや落ち葉を拾いました。5名の地域の皆さんがCS校外学習ボランティアとして付き添い、安全を見守りながら、子どもたちとのふれあいも楽しんでくださいました。ありがとうございました。



イチヨウの葉が変身したよ



袋の中には秋がいっぱい



落ち葉も拾ったよ



地域の皆さんへお礼のあいさつ

3年生 図画工作科

10月5日(火)、3年生が、地域にお住まいの大工さん、大道建設の小澤さん親子をお招きして、のこぎりのひき方と釘の打ち方を教わりました。のこぎりは線に沿ってゆっくりとのこぎりを動かし、筋ができれば足で押さえて、刃を真上から見ながら切ることを実演してくださいました。釘打ちはベランダに出て、グループで教わりました。金づちは凹の面を使って、軽く釘を打ち始め、リズムよく打ち付けることを実演してくださいました。小澤さんは、子どもたち一人一人の作業を見て回り、ほめたり励ましたり声を掛けながら、熱心に教えてくださいました。子どもたちは、正しいのこぎりや金づちの使い方を知り、これからの授業の中で、更に上達していくことでしょう。小澤さん、ありがとうございました。



のこぎりの引き方をじっと見つめる



ベランダでは釘打ちを教わる

4年生 総合的な学習の時間

10月22日(金)、4年生が防災学習の一環として、広見2丁目防災倉庫と公会堂を見学しました。元町内会長の池田さんと元消防団分団長の大竹さんが案内してくださいさり、まず、倉庫にあるアルミ製の「折りたたみ式リヤカー」や窓ガラスを割る「とび」や「発電機」を見せてもらいました。坂の多い地域なので、けが人や重い物を運ぶために、軽量のリヤカーを備えているそうです。次に、消火栓のホースに付ける筒先の付け方や持ち方を教わりました。最後に、公会堂へ行き、貯蔵食糧や保存用の水、布団が常備されている和室や発電設備等を見学し、避難所としての役割を備えていることを知りました。池田さん大竹さん、ありがとうございました。



広見2丁目防災倉庫



窓ガラス等を割る「とび」



消火栓のホースは肩に担いで運ぶ



避難所の役割もある公会堂

あたたかいご支援をありがとうございます。

10月18日(月)、3年生の図画工作科でお世話になった、大道建設の小澤さんにお申し、図工準備室にある電動糸のこぎり6台を、机にネジで固定していただきました。お忙しい中、快く引き受けてくださり、ありがとうございました。



CSボランティアを募集します。

地域や保護者の皆様に、学習支援・校外学習の安全確保・校内の環境美化活動等のボランティアをお願いします。子どもたちの学習や環境づくりにご協力ください。

お問い合わせは、CSディレクター小池 主幹教諭 望月
(広見小学校 TEL 21-2191) まで。

*次回CSだよりは、CSボランティアの皆さんの声を掲載する予定です。